

## 10. 附属地域ケア総合センター

### 10.1 地域ケア総合センター運営委員会

委員長：武山 雅志 教授（附属地域ケア総合センター長）

委員：長谷川教授、紺家教授、阿部准教授、石川准教授、中道准教授、金谷講師、  
竹田特任講師

委員補佐：桶作助教

事務局：田畠教務学生課長、宮川専門員

開催頻度：年4回開催

活動内容：

運営委員会では人材育成、地域活動、国際貢献の3部会の報告を元に、全体のセンター事業の進捗状況を把握するとともに、提示された課題について検討した。また中期計画における年度計画に基づいて令和2年度事業の方向性について検討を行った。平成30年度から行っている事業評価項目を用いて、令和2年度事業の採択を決定した。その際に明らかになった課題については令和2年度の運営委員会に引き継ぎを行った。大学施設の開放化における問題点を明確にするために施設管理担当者に対してアンケート調査を実施した。

令和元年度はかほく市との包括的連携協定締結に係わる協議会を2回開催し、意見交換を行った。平成28年度から始まった「健康ブランド化事業」を継続するとともに、新たに能登枠を設け能登地域に向く形での在宅療養移行に関する人材育成事業をを行った。

各事業について本学HPやメールマガジンを活用し積極的に情報提供するように務めた。

#### 10.1.1 人材育成部会

部会長：石川 倫子 准教授

部会員：垣花准教授、谷本准教授、竹田特任講師

開催頻度：随時

活動内容：

人材育成事業の専門職研修として1講座、本学教員主催の研究会・事例検討会として5講座を実施した。相談サービス事業としては病院、行政、職能団体、福祉・高齢者関係の任意団体より研修会講師や看護研究指導の依頼が合計46件あり、年々増えてきている。

人材育成部会では、平成30度に引き続き、能登北部地区の医療・介護職、行政職を対象に専門職研修「地域みんなで取り組む在宅療養移行支援（参加者84名）」を実施した。2年間にわたる実施の評価を行い、在宅療養移行支援の実施率が高まっていることを確認できた。また3月開催の「地域包括ケア時代に活躍する看護職」は、感染対策のために幾度も担当者と部会で協議した結果、中止とした。いずれも地域包括ケアを確立していく時代のニーズに即した研修であり、令和2年も継続して実施していく。

## 10.1.2 地域活動部会

部会長：金谷 雅代 講師

部会員：川村講師、寺井講師、竹田特任講師

開催頻度：随時

活動内容：

地域連携・貢献事業の地域連携事業として11事業を実施、ワンストップサービス事業として1件の依頼があり、桜井准教授の協力を得た。

かほく市長寿介護課のいきいきシニア活動推進事業の中で実施された「生涯現役」フォーラムにおいて木森准教授に講演を依頼し、フォーラムに協力した。

いきいきステーションの協力を得て、地域活動部会員による「地域公開講座」を5回実施し、1回あたり10名程度の参加があり、かほく市民に健康に関する本学教員の知見を還元した。また、学生が講義等のない木曜日の午後いきいきステーションを訪問し、ステーションで行なわれている「持ち寄りカフェ」に参加することで、いきいき世代の住民と交流を図った。今後も地域や市民のニーズを取り入れて、健康に関する講座や学生との交流を展開していく。

## 10.1.3 国際貢献部会

部会長：中道 淳子 准教授

部会員：阿部准教授、曾山講師、竹田特任講師

活動内容：

国際貢献事業のJICA日系研修において、日本人会幹部向けの2週間の視察型の研修を実施した。研修生2名（パラグアイ）は、イグアス日本人会福祉担当理事とラ・コルメナ日本人会婦人部部長をされている方であった。成果発表会では、福祉用具や送迎車などを取り入れること、要介護高齢者のニーズ調査や羽咋市福水町サロンとの文通などを帰国後の具体的なプランとして発表された。またこれまでの日系研修における取組を踏まえて、パラグアイ・ピラポ日本人会をパートナーとしたJICA草の根技術協力事業「日系社会における高齢者の介護予防活動を支援するプロジェクト事業」が令和元年度に採択されるに至った。令和2年度の実施に向けて準備を進めている。

JICA青年研修ではカンボジアから11名の研修生を迎え、予防医学・公衆衛生分野における実施体制の課題解決を担う青年層の知識と意識の向上を目指して、講義や施設の視察を行った。研修生は自国の現状における課題を改善するための対策（感染症予防対策、母子の健康増進対策、高齢者へのケアの充実等）について高い関心を寄せ、積極的な態度で丁寧に学びを深めていた。過去3回にわたって研修生を受け入れたカンボジアを対象にしたJICA青年研修のフォローアップ事業を令和元年度末に予定していたが新型コロナウイルスの影響で延期になった。

国際貢献部会としては上記の研修について、JICA北陸および羽咋市社会福祉協議会と協議を重ねて円滑な運営に努めた。それぞれの研修中のカントリーレポートまたはジョブレポート発表と成果発表会は、関係者に加え学生の聴講も可能として開催した。開講式・閉講式を執り行うと共に、研修生に喜んでいただけるように工夫を凝らして歓迎会・送別会を実施した。